



わくわく シアター

In となみ野

〔名画座〕

☆ 破戒

10月25日（日）

〔砺波地区センター主催講座連携企画〕

☆ 技と心をつないで 越中福岡の菅笠

☆ プロフェッショナル 仕事の流儀 「花火師 野村陽一の仕事」

☆ 放射性物質の光と影

11月8日（日）

〔名画座〕

☆ 紙屋悦子の青春

12月6日（日）



各回 9:30～
県民カレッジ砺波地区センターにて

入場無料／予約不要
どなたでも鑑賞できます！
大画面、大音量で楽しんでみませんか？



わくわく シアター

In となみ野

10月25日(日)

【破戒】

瀬川丑松は被差別部落出身ということを隠し、ある小学校の教員として奉職する。彼は出自を隠していることに悩みながらも、下宿先の士族出身の女性・志保との恋に心を焦がしていた。木下恵介監督、市川崑監督と名だたる巨匠が映画化した、今なお読み継がれている島崎藤村、不朽の名作が原作。(119分)
出演:間宮祥太郎、石井杏奈、矢本悠馬、石橋蓮司、眞島秀和 ほか

11月8日(日)

【技と心をつないで 越中福岡の菅笠】

富山には、全国に誇れる様々な伝統工芸がある。それは、一人ひとりの職人たちが技と心をつないで、何百年と大切に受け継いできたものである。しかし近年、伝統工芸は需要の減少や後継者不足等の多くの問題を抱えている。その1つである「越中福岡の菅笠」を取り上げ、技の誕生や発展等の歴史、その土台として大切にされてきた心をたどり、そのよさや現状について学ぶとともに未来について考える。(33分)

【プロフェッショナル仕事の流儀

「花火師 野村陽一の仕事」】

全国の花火競技大会を席巻する孤高の花火師・野村陽一。日本の三大花火大会、秋田・大曲の競技会で2005年まで2連覇、茨城・土浦の競技大会では4連覇という偉業を成し遂げた。野村は光の1つ1つを完璧にコントロールする。1年をかけてミリ単位の精度で花火を作り上げる職人の執念のたまもの。その陰には20年に及ぶ下積み時代がある。希代の花火師、野村陽一のひと夏に密着し、その職人魂の深奥に迫る。(43分)

【放射性物質の光と影】

放射線物質の放射能と放射線の違いや、その種類を理解し、さらに生活の中で役に立っている放射線についても紹介。(26分)

12月6日(日)

【紙屋悦子の青春】

敗戦の色濃い昭和20年、春。両親を失ったばかりの娘・紙屋悦子は、鹿児島県の田舎町で兄・安忠とその妻・ふさの3人で、慎ましい毎日を送っていた。ある日、悦子の見合いの話が持ち上がり、相手は兄の後輩・明石少尉の親友、永与少尉だった。悦子と明石は密かに心を寄せ合っていたのだが、海軍航空隊に所属する明石は、自分よりも生き残る可能性が高い永与に、悦子を任せようとしたのだった。数日後、悦子は衝撃的な事実を知らされる。それは明石が特攻隊に志願し、間もなく出撃するというものだった...。(111分)

監督:黒木和雄 出演:原田知世、永瀬正敏、松岡俊介、本上まなみ、小林薫

入場無料 / 予約不要

どなたでも鑑賞できます！

大画面、大音量で楽しんでみませんか??

